

# 臨時勤務者地本支援で大活躍 風神・雷神の働き



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は広報室（室長 1陸尉 鈴木勝太）に臨時勤務していた2名の自衛官が9月30日をもって任務終了につきそれぞれの部隊に戻っていきました。地本では特に募集最盛期であり多くのイベント等が集中する夏・秋には全国の部隊からの臨時勤務者による地本支援が重要であり、任務達成の命づなとなっています。まず航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）鎌塚紫帆空士長は、9月1日から1か月間広報係として勤務、短い期間ではあったが各種イベント業務で活躍してくれました。そのなかでも新潟県防災コンファレンスにおいては制服試着コーナーを受け持ち来場者に対し丁寧に対応し、女性航空自衛官の活躍ぶりをPRしてくれました。また当日は地元新潟市での勤務ということもあり、会場に来られた御両親に活躍する姿を見せることができました。陸上自衛隊第30普通科連隊（新発田）大竹堅弘3陸曹は、4月1日から半年間広報係として勤務、各種イベントの運営に尽力しました。

特に真夏の暑い中で艦艇広報やイベントに参加し、どこからともなく新潟地本キャラクター「マモル」を登場させるなど、人気を博しました。

2名とも期間は違うものの広報室の大きな戦力となり、まさに風神・雷神を思わせる勤務ぶりでした。臨時勤務終了時には「部隊とは違う勤務で勉強になった」「また新潟地本で勤務を希望したい」と語ってくれました。

新潟地本は今後も各部隊と連携を取り、必要な時期には臨時勤務を積極的かつ集中的に活用し、地本勤務への協力を深めるとともに、募集目標の達成に努めていきます。

